

下松市・報道発表（配布）資料

令和6年1月11日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先 (直 通)
消防本部 予防課	西坂 信浩	三藤 恭介	45-1882
教育委員会 生涯学習振興課	引頭 康行	國居 将和	45-1870
1. 件 名	「第70回文化財防火デー」にあわせて実施する 関伽井坊多宝塔の立入検査及び消防訓練について		
2. 日 時	令和6年1月26日（金） 9時15分開始		
3. 場 所	関伽井坊多宝塔 及び 花岡八幡宮境内		
4. 実施機関	・下松市消防本部 ・下松市消防団 ・下松市教育委員会		
5. 目 的	本市には、国指定重要文化財の関伽井坊多宝塔をはじめ、県や市の指定を受けた文化財が数多く存在します。 これらの貴重な文化財を守るため、消防訓練を実施し、防災力の向上とともに、文化財愛護意識の高揚を図ることを目的としています。		
6. 内 容	(1) 関伽井坊多宝塔の立入検査 9:15～ 9:40 (2) 消防訓練 9:45～ 9:55 (3) 見学者による消火器取扱訓練 10:00～10:10 (4) 関伽井坊住職、花岡八幡宮宮司による児童への講話 10:15～ ※消防訓練から花岡小学校の参加・見学を予定しています。 ※花岡小学校児童数名による消火器取扱訓練を実施します。		
7. 問 合 せ	(1) 立入検査及び消防訓練について 市消防本部予防課 ☎45-1882 (2) 関伽井坊多宝塔について（裏面のとおり） 市教育委員会生涯学習振興課 ☎45-1870		

第70回 文化財防火デー

昭和24年1月26日、奈良県にある法隆寺の金堂が火災に遭い、1,000年以上も昔から大切に守られてきた文化財が、一瞬にして失われました。

以後、二度とこのような火災を起こさないよう、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、多くの人に文化財を守り、大切にすることを養ってもらおうと運動が始まりました。

下松市にも国指定重要文化財の「關伽井坊多宝塔」や県・市の指定を受けた文化財がたくさんあり、その多くが燃えやすい素材である木や紙などで作られています。これらの文化財を守るためにも、周辺での焚き火や喫煙は禁止されています。

国指定重要文化財

關伽井坊多宝塔

つけたり
附 棟札 5枚

指 定 日	明治40年5月27日
所 在 地	下松市花岡戎町
所 有 者	關 伽 井 坊

この塔は藤原鎌足の建立16塔の一つと伝えられていますが、建築様式や装飾から室町時代中期から後期にかけての建造と推定されています。

方三間(429cm四角)、二重の塔で、高さ1,350cm、本尊金剛界大日如来が安置されています。

また、この塔は江戸時代に5回修理されており、この際の記録として棟札が5枚残っています。これら棟札も、昭和54年2月3日に多宝塔の附として追加指定されました。

下松市に関するその他の文化財
別紙のとおり

第70回 文化財防火デーに伴う立入検査及び消防訓練

立入検査 9時15分～9時40分

○検査内容

- ・多宝塔周囲、内部の状況を確認
- ・消防用設備等の維持管理状況を確認(消火設備、警報設備)

消防訓練 9時45分～9時55分



火災想定

何らかの原因で、多宝塔隣接の林が火災となり、多宝塔に延焼危険が迫っている状況

訓練流れ

時間(予定)

9時45分	火災発見	林から煙が出ているのを通行人が発見 発信機を押し(ベル鳴動)、消火器で初期消火
9時46分	通報	住職自宅の受信機及びモニターで火災を覚知した住職が現場に駆けつけ 同時に通報装置で消防機関へ通報
9時47分	文化財搬出	関伽井坊住職による文化財搬出 搬出後、消防隊到着まで消火栓による放水
9時49分	消防隊 消防団 による 活動	消防隊到着、活動開始 消防車両からホース延長(筒先シャット(止)) 消防団到着、活動開始 放水銃操作(弁シャット(止)) 消防隊隊長の放水始めの合図で一斉放水(放水時間約20秒)
9時50分	活動	鎮火、放水停止 収納
9時55分	訓練終了	

消火器取扱い訓練 10時00分～10時10分

○見学者(花岡小)による消火器取扱い訓練

文化財等の講話 10時15分～

○住職、官司による見学者(花岡小)への講話